

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	小中一貫教育推進事業		所管課【2】	教育総務課
			評価者(担当者)	大西 優子
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(1)学校教育の充実		
	施策区分	(2)生きる力を身につける教育の推進		
(市民意識調査結果)		<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域	<input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域	<input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市小中一貫教育推進計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】			款 10 項 1 目 2 細目 10

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	不登校や問題行動の増加といった「中1ギャップ」の傾向が全国的に見られ、本市でも指導の枠組みでの段差や、小・中学校の指導の在り方、学習の進め方の変化に対する児童生徒の戸惑い等、様々な段階を滑らかにするための施策を講じる必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	玉名市内の市立小中学校の児童・生徒
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	義務教育の9年間を見通した一貫性のある学習指導や生徒指導を行うことで、子どもたちのより豊かな人間性や社会性の育成と学力の向上を図る。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
	【 年度】 【 H24 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・平成26年度から全中学校区単位で小中一貫教育を導入し、共通の「目指す将来像」を定め、「共通実践事項」知・徳・体をそれぞれに決め、学習指導や生徒指導を行う。 ・研究指定校において、特色ある教育課程「玉名学」、「エンジョイ・イングリッシュ」を実践研究した。玉名学は平成28年度から全小中学校で、「エンジョイ・イングリッシュ」は平成27年度全小学校、平成28年度に全中学校に導入する。
	事務事業を構成する細事業【15】 ① 小中一貫教育推進事業 ② ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金	-		970	1,400	
		起債					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	12,462	28,962	34,193	8,757	
	【16】 小 計	12,462	28,962	35,163	10,157	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,844	4,541	4,883	4,883		
	職人件費	職員人工数	1.81	1.52	1.52	1.52	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
【17】 小 計		9,817	8,757	8,757	8,757		
合 計		22,279	37,719	43,920	18,914		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 小中一貫教育推進事業	中学校区単位の小中一貫教育全体構想の推進・検証を行う。	コーディネーター会議及び研修回数	回	4	4	3	3
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
1 中学生になるのが楽しみと感じる児童数割合	小6児童を対象に実施したアンケート調査結果	%	90	90	90	95
			89	89	88	
2 学校が楽しいと感じる生徒数割合	中1生徒を対象に実施したアンケート調査結果	%	95	95	95	95
			94	95	95	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	小6児童は9割近くが進級を楽しみにしておりほぼ目標値どおりであるが、更に中学生になるのが楽しみと感じる児童が増加するように、中学校区単位での更なる小中一貫教育の充実を図っていく。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	小中一貫教育を推進していくにあたって、全中学校区で義務教育の9年間を貫く具体的目標を掲げ、学習指導や生徒指導を行う。また、玉名市独自の教育課程(玉名学・エンジョイ イングリッシュ)においては、研究指定校の研究をもとに玉名市内全小中学校に導入し、拡充していく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	玉名学では研究指定校以外にも全小中学校に導入する。またエンジョイ イングリッシュでは1年間で1・5学年分DVD及びガイドブックを作成する予定にしているが、計画どおり作成できるように専任研究員など担当者の役割分担を明確化し、進捗状況を把握する。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	玉名市が目指す小中一貫教育では、小学校と中学校の教職員がお互いに連携、協力しながら、義務教育の9年間を見通した一貫性のある学習指導や生徒指導を行っていく計画である。今後各中学校区単位で進め、「小中一貫教育推進計画」のとおり現状のまま継続することが必要である。	評価責任者 島崎 賢二
------------------	---	----------------